株式会社 昭和螺旋管製作所

消火関連製品

高品質と

施工しやすさを両立した

アクトSPNシリーズ

CATALOG SERIES

For Safety

For Convenience

For Future

スプリンクラー設備用フレキアクトSPN

Components for fire-extinguishing systems

21世紀のグローバルスタンダード

用途兼用化を実現した史上唯一の一体型回転ニップル構造を持つフレキシブルホース

＊一般財団法人日本消防設備安全センター認定品

ホテル、ショッピングセンター、高層マンションなどの集合施設には消火設備の設置が義務付けられています。その消火設備において、天井内の配管元と各フロアの天井にあるスプリンクラーヘッドを繋ぐのが「アクトSPN」です。狭い天井を分岐するだけに、スプリンクラー配管は限られた空間の有効活用がポイントです。従来型施工は職人技に依存する部分も多かったのですが、このアクトSPNは配管のし易さが格段に向上しています。



用途別製 品適合表

製品＼用途	湿式スプリンクラー設備	乾式スプリンクラー設備	予作動式スプリンクラー設備	泡消火設備（特定駐車 場・フォームヘッド・感知ヘッド）	負圧／真空スプリンクラー設備	露出配管用（軽易耐熱性試験合格品）	水道連結型（日本水道協会認証登録品）	掲載頁
SPN	○	○	○	○ (R1)	○			9
B-SPR	○	○	○	○ (R3/4)	○		○ (R3/4)	10
E-SPR	○	○	○	○ (R1/2)	○			11
SPN-SC	○	○	○	○	○	○ (R1)		12

告示基準解説

巻き出し管継手の消火設備用管継手は消防庁の告知基準との適合性を
(一財)日本消防設備安全センターにより評価され、登録認定されております。

金属製管継手及びバルブ類の基準(平成20年消防庁告示第31号より抜粋・要約)

試験項目	試験内容	判断基準
気密試験	管継手等に0.3MPaの空気圧を3分間加える。	漏れを生じないこと。
管継手漏れ試験	水を満たした管継手等に0.1MPaの水圧力を3分間加える。	漏れを生じないこと。
耐圧試験	管継手漏れ試験に合格した管継手等に対して、水を満たし、最高使用圧力の1.5倍の水圧力を3分間加える。	ひび、割れ、漏れ又は脱管が生じないこと。
破壊試験	管継手漏れ試験及び耐圧試験に合格した管継手等に対して、水を満たし、1分間で最高使用圧力の4倍となるまで水圧力をかける。	ひび、割れ、漏れ又は脱管を生じないこと。
水撃圧試験	水を満たした管継手等に対して0.1MPa から最高使用圧力の3.5倍の圧力となるまで圧力変動を毎秒1回の割合で100 回加えた後において、管継手漏れ試験及び耐圧試験を行う。	ひび、割れ、漏れ又は脱管を生じないこと。
曲げ試験(可動式管継手)	管継手に管を接続したものの内部に水を満たし、0.1Mpaの水圧力を加えた状態において、申請最小曲げ半径で申請最大曲げ角度の曲げを5回繰り返す。	ひび、割れ、漏れ又は脱管が生じないこと。
引張強度試験	管継手の軸方向に引張荷重を加える。 引張荷重＝π×最高使用圧力×(管外径)^2	破壊又は脱管を生じないこと。
耐薬品性試験	金属材やゴム材(JIS K6258 準拠品)の試験片を温度23±2℃に保持した恒温装置内に7日間静置する。試験液は、管継手等を使用する消火設備に用いる消火剤の水溶液又は原液とし、24時間ごとに試験液をかき混ぜて濃度を均一にする。	金属材はその表面にさびその他の異常を生じないこと、ゴム材は質量変化及び体積変化がそれぞれ5%以上増減しないこと、かつ、変色を生じない又は変色が軽微であること。
軽易耐熱性試験※	内部に空気が残らないように水を満たし、最高使用圧力の水圧を加えた状態で、試験室の天井に正方配置した四個のスプリンクラーヘッドの中心に露出して設置し、管継手等の直下に置いた火災模型に点火し、火災模型をスプリンクラー設備により鎮火した後、漏れ試験・耐圧試験を行う。	ひび、割れ、漏れまたは脱管を生じないこと。

※型式名にSC 記載の製品のみ合格。軽易耐熱性試験の定義:スプリンクラー設備であって湿式の流水試験装置が設けられているものの管継手及びバルブ類が天井部分に設定される場合において、火災時に著しい損傷を受けるおそれがある部分が自動式の消火設備の有効範囲内にある場合にあっては、軽易耐熱性試験に合格するものであること。(消防庁告示第31 号 金属製管継手及びバルブ類の基準 第3 管継手及びバルブ類の性能より引用)

消防認定証

別記様式

発行番号　更2020-0071 号

認　　定　　証

種　　別		消火設備（消火設備用巻出し管継手）
型　式　記　号		ｱｸﾄSPN-PSP
適　用　規　格		Ｂ１０３－１９・Ｂ１０４－１９
申請者名	所　在　地	東京都板橋区小豆沢２－２６－１０
	名　　称	株式会社昭和螺旋管製作所
	代　表　者	代表取締役社長　佐々木　勇
認　定　番　号		PJ-133-2号
認　定　年　月　日		平成27年（2015年）01月27日
認定有効期限		令和05年（2023年）03月31日

上記適用規格に適合するものであることを認定します。

FESC

一般財団法人 日本消防設備安全センター
理事長　門　山　泰　明

消火関連製品

消火関連製品

SPN製造特長　Manufacturing Features

自社工場による一貫生産ラインが、安定した高品質を実現しています。

自社工場一貫生産によるすべての工程での高度に安定した品質が 優れた製品の供給を実現します。

1 一体型回転ニップル構造

●昭和螺旋管製作所独自の一体型回転構造により、アダプタなどの付属品が不要のため最小限のねじ込み箇所で済むため、施工性に優れており、漏水リスクも少ない構造です。

●ニップル内部に電気絶縁材を緩衝させた構造により、異種金属接触腐食を防止しています。



2 フレキチューブ

●SUS316製のため、耐久性・耐食性に優れています。

●オールフレキシブルのため、どこでも曲げることが出来ます。

※外的要因保護のために、被覆品オプション（P13）をご参照ください。



3 ICタグ(RF-ID)搭載

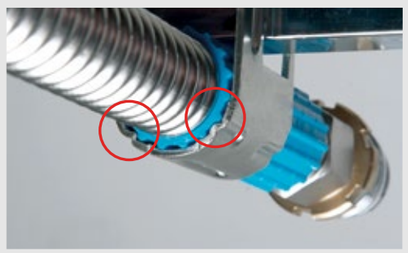
●施工済み商品のトレース管理、トレーサビリティを明確にします。



4 カバー

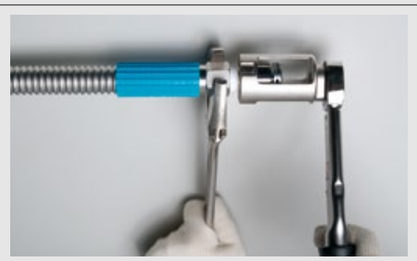
●専用固定金具の凸部と密着する凹部加工により、スプリンクラーヘッド交換等の際の供回り防止機能を有しています。

●10mm毎に目盛りがあるため、固定時にレベル調整が出来ます。



5 ソケット

●六角形状で、スパナ等使用し易くスプリンクラーヘッド固定の際に施工し易くなっています。





6 耐震性

●フレキチューブは、優れた可とう性を持つことから、地震時の配管の動きを吸収し、スプリンクラーヘッドの損傷を抑えます。

●巻き出しフレキの耐震性については、一般財団法人日本消防設備安全センター様の「消火設備配管等に対する耐震基準検討委員会」で実施されました「消火設備配管等の耐震性に係る振動実験(耐震実験)」において、耐震性に問題ないことが確認されています。

各種スプリンクラー設備

兼用タイプでお使いやすくなりました。

詳細は下記1～3をご参照ください。

1.湿式、乾式、特定駐車場用泡消火設備
真空スプリンクラー設備対応　→P 9　SPN　Series
2.泡消火設備用フォームヘッド対応　→P10　B-SPR　Series
3.泡消火設備用感知ヘッド対応　→P11　E-SPR　Series
4.露出湿式スプリンクラー設備対応※　→P12　SPN-SC　Series

※スプリンクラー設備であって湿式の流水試験装置が設けられているものの管継手及びバルブ類が天井部分に設置されて、火災時に著しい損傷を受けるおそれがある部分が自動式の消火設備の有効範囲内にある場合に、使用可。(消火設備用巻出し管継手 認定書類 管継手の明細書より引用)

消火関連製品

SPN製造特長　Manufacturing Features

自社工場による一貫生産ラインが、安定した高品質を実現しています。

自社工場一貫生産によるすべての皇帝での高度に安定した品質が優れた製品の供給を実現します。

1 国内自社一貫製造

●部材受入から出荷まで厳しい品質管理のもと、自社工場による一貫した生産ラインで製造しております。







2 造管

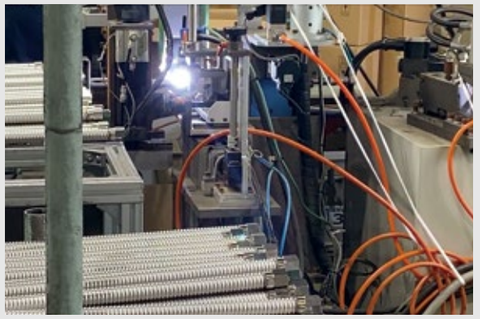
●薄肉であっても耐圧性に優れ、また柔軟に曲げられるフレキの製造に欠かせない工程です。

●配管作業の効率化、また近年では特に耐震対策が求められており、この工程が多方面で活きています。

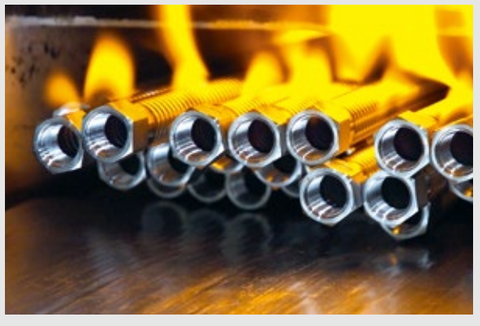


3 溶接・光輝焼鈍

●高温の炉にかけ、焼き鈍しすることにより部材の成形後の組織を柔軟に曲げ易くなります。また腐食を防止します。







4 検査・梱包

●当社では全数検査の管理徹底をする事で、高品質な製品造りを実現しております。







SPN製品ラインナップ　SPN Series Line-up

SPN-R1 25A

SPN 湿式乾式泡消火設備用フレキ

図面・認定証のダウンロードはこちらから

SUS316素材と絶縁性の高い回転ニップルとの一体構造で究極の使い易さを実現。





■製品特長

一体型回転構造のため、余分なパーツは不要で最小限のねじ込みにて施工を実現し、一体型回転構造のニップル内は絶縁構造となっており、使用後の異種金属接触腐食を防止できます。フレキ素材はSUS316を使用し高耐食性高品質を実現し、抜群の実績からくる確かな信頼性を得ています。

■仕様

認定番号：PJ-133-2号
型式記号：SPN-PSP（湿式用PJ-133号　乾式兼用PJ-133-1号の統合）

■適応設備

1.スプリンクラー設備（湿式用・乾式用・予作動式用・真空用）
2.泡消火設備（特定駐車場用）

■寸法表・等価管長

品名	配管側口径	L	L1	35l/min	50l/min	80l/min
SPN-11	R1 25A	1100	948	4	6	8
SPN-15		1500	1348	5	7	9
SPN-21		2100	1948	8	10	12
SPN-25		2500	2348	9	11	13
SPN-30		3000	2848	11	15	17
SPN-38		3800	3648	14	17	18
※以下受注生産品						
SPN-08	R1 25A	800	648	3	6	7
SPN-18		1800	1648	6	8	11
SPN-20		2000	1848	8	10	12
SPN-45		4500	4348	18	23	27
SPN-55		5500	5348	23	28	31
SPN-65		6500	6348	26	30	37

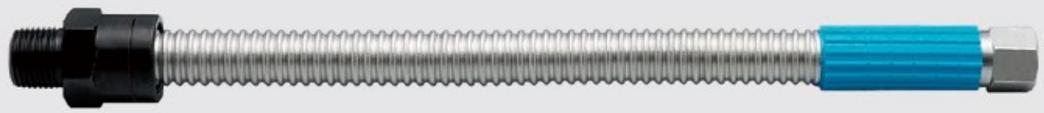
※等価管長は、最大屈曲状態による最小曲げ半径65R　最大曲げ角度180°（3800L以下2箇所、4500L以上4箇所）炭素鋼鋼管20A相当に換算

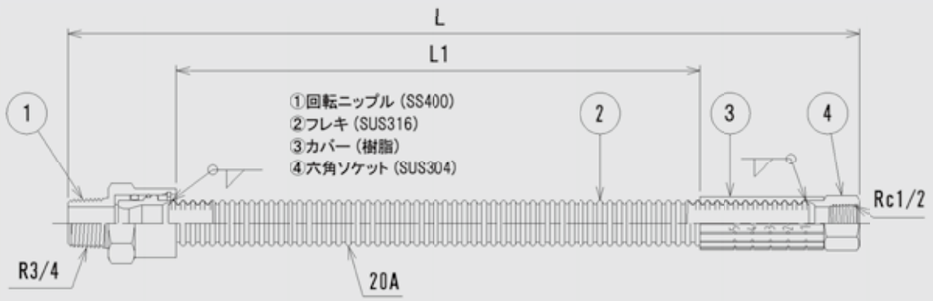
B-SPR-R3/4 20A

B-SPR 泡消火設備用フォームヘッド対応フレキ

図面・認定証のダウンロードはこちらから

業界初! 施工性抜群の一体型回転ニップル構造で泡消火設備用が登場。





■製品特長

SPNとして抜群の実績のある一体型回転ニップル構造で、接続部口径をR3/4にすることにより、泡消火設備用フォームヘッド対応品として、ご使用いただけます。消火設備配管径と適合しているため、異径継手等が不要となり大変便利です。また、従来の当該商品より、長尺対応が出来、施工性が格段に向上しております。

■仕様

認定番号：PJ-133-2号
型式記号：SPN-PSP

■（社）日本水道協会認証登録品（オプション）

（社）日本水道協会認証登録品としての製品です。特定施設水道連結型スプリンクラーにご使用いただけます。　※関係自治体ごとの施工指針をご参照ください。

■適応設備

1.泡消火設備（フォームヘッド対応・特定駐車場用）
2.スプリンクラー設備（湿式用・乾式用・予作動式用・真空用）

■寸法表・等価管長

品名	配管側口径	L	L1	35l/min	50l/min	80l/min
B-SPR-08	R3/4 20A	800	648	3	6	7
B-SPR-11		1100	948	4	6	8
B-SPR-15		1500	1348	5	7	9
B-SPR-18		1800	1648	6	8	11
B-SPR-20		2000	1848	8	10	12
B-SPR-21		2100	1948	8	10	12
B-SPR-25		2500	2348	9	11	13
B-SPR-30		3000	2848	11	15	17
B-SPR-38		3800	3648	14	17	18
B-SPR-45		4500	4348	18	23	27
B-SPR-55		5500	5348	23	28	31
B-SPR-65		6500	6348	26	30	37

※等価管長は、最大屈曲状態による最小曲げ半径65R　最大曲げ角度180°（3800L以下2箇所、4500L以上4箇所）炭素鋼鋼管20A相当に換算

SPN製品ラインナップ　SPN Series Line-up

E-SPR-R1/2 15A

E-SPR 泡消火設備用感知ヘッド対応フレキ

図面・認定証のダウンロードはこちらから

業界初! 施工性抜群の一体型回転ニップル構造で泡消火設備用が登場。





■製品特長

SPNとして抜群の実績がある一体型回転ニップル構造で、接続部口径をR1/2にすることにより、泡消火設備用感知ヘッド対応品として、ご使用いただけます。消火設備配管径と適合しているため、異径継手等が不要となり大変便利です。また、従来の当該対応品より、長尺対応が出来、施工性が格段に向上しております。

■仕様

認定番号：PJ-133-2号
型式記号：SPN-PSP

■適応設備

1.泡消火設備(感知ヘッド対応)
2.スプリンクラー設備(湿式用・乾式用・予作動式用・真空用)

■寸法表・等価管長

品名	配管側口径	L	L1	35l/min	50l/min	80l/min
E-SPR-08	R1/2 15A	800	648	3	6	7
E-SPR-11		1100	948	4	6	8
E-SPR-15		1500	1348	5	7	9
E-SPR-18		1800	1648	6	8	11
E-SPR-20		2000	1848	8	10	12
E-SPR-21		2100	1948	8	10	12
E-SPR-25		2500	2348	9	11	13
E-SPR-30		3000	2848	11	15	17
E-SPR-38		3800	3648	14	17	18
E-SPR-45		4500	4348	18	23	27
E-SPR-55		5500	5348	23	28	31
E-SPR-65		6500	6348	26	30	37

※等価管長は、最大屈曲状態による最小曲げ半径65R　最大曲げ角度180°(3800L以下2箇所、4500L以上4箇所)炭素鋼鋼管20A相当に換算

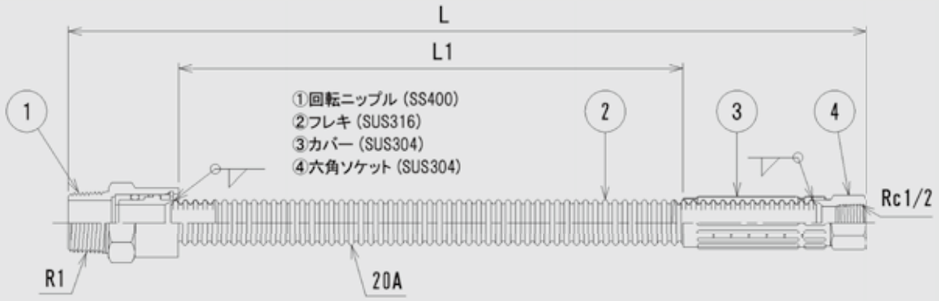
SPN-SC-R1　25A

SPN-SC 軽易耐熱性試験合格品

図面・認定証のダウンロードはこちらから

スケルトン天井、ルーバー天井等で使用可能に!幅広い施工を実現。





■製品特長

実績のある従来品SPNのカバー部の材質を樹脂製からSUS製にすることにより直火に溶けない仕様としています。消防法告示第31号基準の軽易耐熱性試験に合格しており、スケルトン天井、ルーバー天井等設置場所を選びません。(湿式配管)配管側口径により、R1(品名：SPN-SC)、R3/4(品名：B-SPR-SC)、R1/2(品名：E-SPR-SC)をお選びいただけます。







■仕様

認定番号：PJ-133-3号
型式記号：SPN-PSP

■適応設備

1.スプリンクラー設備(湿式用・乾式用・予作動式用・真空用)
※露出環境の場合、湿式配管限定
2.泡消火設備

■寸法表・等価管長

品名	配管側口径	L	L1	35l/min	50l/min	80l/min
SPN-SC-08	R1 25A	800	635	3	6	7
SPN-SC-11		1100	935	4	6	8
SPN-SC-15		1500	1335	5	7	9
SPN-SC-18		1800	1635	6	8	11
SPN-SC-20		2000	1835	8	10	12
SPN-SC-21		2100	1935	8	10	12
SPN-SC-25		2500	2335	9	11	13
SPN-SC-30		3000	2835	11	15	17
SPN-SC-38		3800	3635	14	17	18
SPN-SC-45		4500	4335	18	23	27
SPN-SC-55		5500	5335	23	28	31
SPN-SC-65		6500	6335	26	30	37

※等価管長は、最大屈曲状態による最小曲げ半径65R 最大曲げ角度180°(3800L以下2箇所、4500L以上4箇所) 炭素鋼鋼管20A相当に換算
※配管側口径 R3/4(品名：B-SPR-SC)、R1/2(品名：E-SPR-SC)も用意しています。上記L寸毎の等価管長は同様でございます。

消火関連製品

SPN製品ラインナップ　SPN Series Line-up

被覆品 オプション

固定金具セット黒色仕様
（カチオン塗装）対応可



2020年冬 意匠登録出願中

外的要因（スパッタ・迷走電流・異種金属接触等）を外面被膜で完全制御。取り付け後の経過確認も容易です。

被覆 非施工品

被覆 施工品

被膜状態がわかるように色（ブルー）を着けています。
実際の施工は無色透明になります、透明被覆（SPN-CT、SPN-CR）



黒被覆（SPN-BK）

黒被覆（SPN-SC-BK）
露出配管時の内装意匠合わせに【SPN-SC-BK】もご検討下さい。

■製品特長

外的要因(スパッタ・迷走電流・異種金属接触・塩素・塩害)による障害を外面被覆で完全防御。黒被覆と透明被覆を用意しています。透明被覆は、取り付け後の経過確認も容易です。

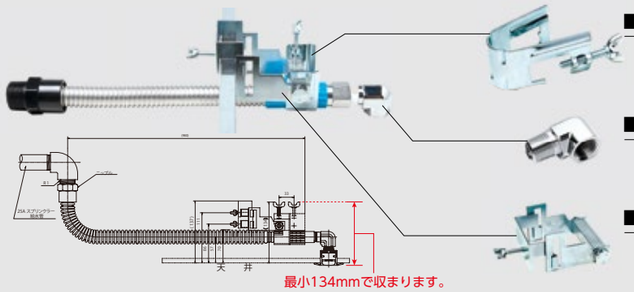
■仕様

3種類の被覆材質に特性がございます。用途や設置環境に応じて、被覆材質をご選択いただけます。詳細は下記表をご参照ください。

品　名	材　質	色	絶　縁　性	難　燃　性	柔　軟　性
SPN-BK	EPDM	黒	◎	◎	◎
SPN-CR	ポリオレフィン	透明	○	△	○
SPN-CT	PVC	透明	○	○	△

取り付け用金具（オプション品）

センター金具、ストリートエルボ、ダクト下用金具



■センター金具

カバー部分との密着により性能を最大限発揮できる専用固定金具です。※供廻り防止機能付き

■ストリートエルボ

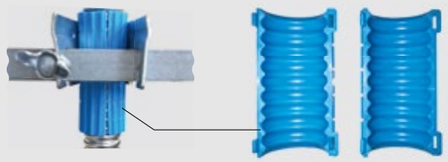
狭い場所での横引き配管用（非認定品）

■ダクト下用金具

ダクト下等の狭い場所での横引き配管時に使用し、下地材との調整機能があります。

取り付け用金具・付属品

半割樹脂カバー





■製品特長

- 長さが短くなり、取付け箇所が拡大。
- 天井面と固定位置が離れた時に大活躍。
- SPヘッドの取り外し、及び単管の取付が不要に。
- ツメ機能が加わり、取付け作業がハンズフリーに。

施工要領の
動画はこちらから

取り付け用金具・付属品

アジャストK

SPN専用レベル調整用センター金具 特許取得品【特許第6385534号】



オプション品

T字・L字六角ドライバー



引き出し用工具 二種（φ50・φ40）



■製品特長

SPN専用レベル調整用センター金具【アジャストK】とは、SPヘッド取付高さの再調整を行う際、点検口から天井裏に侵入して行っていた作業を、天井下からセンター金具を緩めて取付高さを任意に再調整可能な金具です。

■施工要領

SPN巻き出し固定時

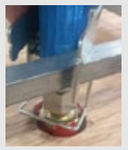
STEP1
巻き上げ状態のSPNを巻き下げ、SPNの装着されたSPヘッドにキャップをした状態で、レベル調整用センター金具【アジャストK】（以下"金具"）上方から金具内部へ通してください。



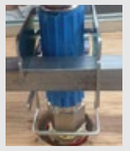
STEP2
SPN樹脂カバー部の凹凸部を金具内側の凹凸部に合わせてください。



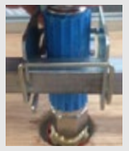
STEP3
SPNと金具の固定部を抑えながら、上方から斜めに角バーを通してください。



STEP4
通した金具を右方向へ45度回転させてください。



STEP5
セーフティーバーを（パチッと音が鳴るまで）上げてください。



STEP6
金具下部にあるネジの位置を確認し、六角ドライバーでネジをとめてください。



SPヘッドのレベル調整時

STEP1
SPヘッドに装着されたシーリングプレートを外し、SPヘッド周りの溝から金具下部にあるネジを確認してください。

STEP2
SPヘッドを引き出し工具で抑えてください。



STEP3
六角ドライバーでネジを緩めてください。この際SPNが天井内部へ引き込まれないよう、引き出し工具でしっかり抑えてください。



STEP4
SPヘッドのレベルを調整してください。

STEP5
六角ドライバーでネジを締めてください。この際SPNが斜めにならないよう、引き出し用工具でしっかり抑えてください。

STEP6
シーリングプレートをSPヘッドに装着してください。

消火関連製品

SPN施工要領　Construction procedure

アクトSPNはお客様の声と共に歩んできた製品です。

優れた製品を最大限に生かすには、現場での施工が間違いなく、しかも「速く確実」であることが大切です。
そのためのサポートにも数々の実績があります。

1 施工手順 1

適用するアクトSPNを選択します。

スプリンクラー・泡消火・露出環境等、使用条件に合った製品を選択して下さい。

2 施工手順 2

スプリンクラーヘッドを取り付けます。

スプリンクラーヘッドをアクトSPNに取り付けてください。

- **スプリンクラーヘッドは、専用ヘッドレンチを用いて取り付けてください。**
  ※各ヘッドメーカーの推奨トルク値をご参照ください。
- **作業の際は、カバー部(絶縁部)にパイプレンチ等をかけないようにご注意下さい。**



3 施工手順 3

アクトSPN本体を取り付けます。

枝配管にアクトSPN本体を取り付けてください。



- **ニップル根元から一握り分(50mm程度)の間隔を取って曲げることを推奨します。**



- **テーパーねじには、シール剤の塗布かシールテープを巻いてください。**

4 施工手順 4

アクトSPNを仮固定します。

- **使用条件にご注意して配管してください。**
- **推奨曲げ半径は100R以上として下さい。**



5 施工手順 5

圧力テストを実施します。

所定の試験圧力による加圧試験を行ってください。

- **警報弁二次側水圧テスト：1.75MPaを限度としてください。**
  注意：耐圧試験を行う場合、フレキのヘッド取付側金具からの加圧は絶対に行わないでください。フレキ取付形状によっては、加圧によるフレキのねじれや、加圧装置からフレキに加わる外力、ポンプの振動等により、フレキの破壊につながります。誤って加圧した場合は、速やかに当該フレキを交換してください。

6 施工手順 6

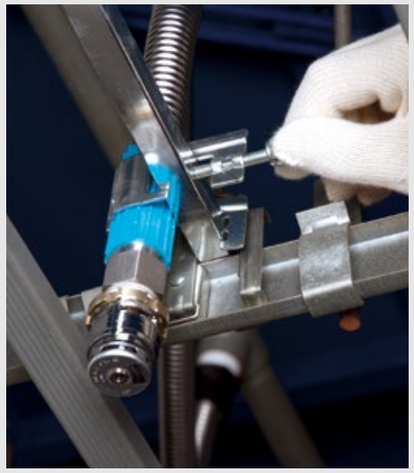
アクトSPNを固定します。

角バー等を取り付けて、青色カバー部(絶縁部)のレベルゲージで高さの調整を行い、ヘッドのレベルを揃えてください。

- **アクトSPNの固定は、専用の固定金具を使用し本体の青色カバー部(絶縁部)に固定してください。**
- **スプリンクラーヘッドの取り付け部は取付面に対して垂直になるように施工してください。**



ダクト下用金具施工例



消火関連製品

SPN取扱上の注意　SPN Handling Precautions

アクトSPNを使用される時は、以下の注意事項を遵守してください。

1 ニップル、ソケット六角部以外の部分にはレンチを掛けないでください。

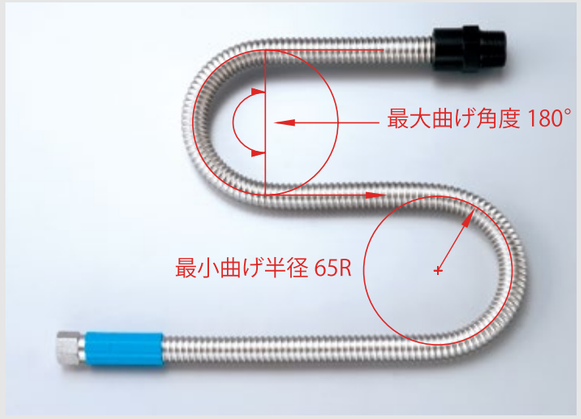
●フレキ部、カバー部(絶縁部)にレンチを掛けますと、変形・破損の原因になります。変形または破損したアクトSPNは、絶対にご使用にならないでください。

2 極端な曲げによる施工は避けてください。

●フレキ部、滑らかなカーブになるように曲げてください。
最大曲げ角度(180°)以上及び最小曲げ半径65R以下で曲げないでください。

●ニップル根元からの極端な曲げは避けて下さい。

●最大屈曲形状時(最小曲げ半径65R/最大曲げ角度180°)の曲げ箇所数について
・巻出しフレキの全長が3800L以下で2箇所曲げ、4500L以上で4箇所曲げとなります。(最大曲げ角度が90°の場合は、3800L以下で4箇所曲げ、4500L以上8箇所曲げとなります)



3 必ず専用の固定金具を使用して、カバー部でしっかり固定してください。

●専用固定金具以外をご使用になると、締め付け強度が弱くなり、製品性能が損なわれる場合がありますのでご注意ください。

●カバー部を外して固定すると、絶縁効果が薄れるのでご注意ください。

4 配管ダクト等に接触する恐れがある場合は、絶縁性の低下を防ぐため、その部分に防食テープ等を巻いてください。

●【被覆品オプション】(P13)と【半割樹脂カバー】(P13)を参照ください。

5 アクトSPNの近くで溶接作業を行う際は、フレキ部分に養生を行ってください。

●【被覆品オプション】(P13)を参照ください。

6 不燃材の天井ボードの上部で使用してください。

●露出配管などで、火災時の熱による著しい損傷を受ける虞がある部分には使用しないでください。

●露出配管でご使用頂く場合は、【SPN-SC】(P12)を参照ください。

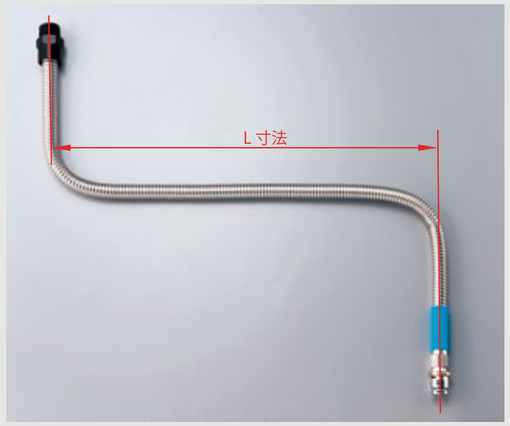
7 フレキにアースを接触させないでください。

8 管の支持間隔は最大2メートルとしてください。

●アクトSPNの一般的な配管有効長は下記L寸をご参照ください。

●L寸法表 (mm)

NO.	L (mm)
SPN-08	515
SPN-11	815
SPN-15	1215
SPN-18	1515
SPN-20	1715
SPN-21	1815
SPN-25	2215
SPN-30	2715
SPN-38	3515
SPN-45	4215
SPN-55	5215
SPN-65	6215



9 不凍液のご使用は、腐食発生や夏季高温時による体積膨張(異常昇圧)の懸念がございますので、ご注意ください。

10 フレキを凍結させると破損の原因になりますので、ご注意ください。

11 屋内プール等の塩素イオン濃度が高い場所での使用は、フレキを腐食させる場合がございますので、ご注意ください。

●【被覆品オプション】(P13)を参照ください。

12 一度設置済みのフレキの再利用は、推奨しておりません。

●設置時のフレキの曲げ回数、Oリング(ゴム素材)への加圧の履歴により、再利用した際に本来の製品性能が損なわれる可能性があるため、ご注意ください。

13 屋外での保管は避けてください。

●直射日光を避け、熱気のこもらない方法で保管してください。

For Safety

For Convenience

For Future

本　　社　〒174-0051　東京都板橋区小豆沢2-26-10
TEL 03-3967-5751(代)　FAX 03-3969-3287

営 業 部　〒115-0051　東京都北区浮間5-3-3
TEL 03-3966-2286(代)　FAX 03-3967-2085

広島営業所　〒731-0123　広島県広島市安佐南区古市3-5-26 第7やたがいビル202号室
TEL 082-877-1844　FAX 082-877-4481

東北営業所　〒980-0022　宮城県仙台市青葉区五橋2-10-20 第2菊水ビル201
TEL 022-722-4590　FAX 022-722-4591

関西営業所　〒550-0005　大阪府大阪市西区西本町2-5-10 コンフィデンス西本町306号室
TEL 06-6585-9650　FAX 06-6585-9651

*本カタログの掲載製品の内容は、改定日時点での資料、データに基づいて作成されております。仕様・外観などは予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

*印刷の関係上、実際の製品と若干異なる場合がございます。

2021. 1. 28. ver.2.0.0

株式会社 昭和螺旋管製作所
ShowaRasenkan Seisakusho Co., Ltd.

https://www.showarasen.co.jp/